

殺虫剤
クロチアニジン水和剤

農林水産省登録 第20798号
(住友化学(株)登録)
性状：青緑色水溶性細粒
毒性：普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称)
危険物：非該当
有効年限：5年
包装：125g×60, 250g×30

有効成分：クロチアニジン(化管法第1種)・・・・・・16.0%

殺虫剤分類4A

ダントツ®は住友化学(株)の登録商標です。

特長
○浸透移行性に優れ、カメムシ目、ハエ目、コウチュウ目、チョウ目、バッタ目、アザミウマ目の各種害虫に高い防除効果を発揮します。
○幅広い殺虫スペクトラム アブラムシ類、コナジラミ類、ウンカ類、ヨコバイ類、カメムシ類、コナカイガラムシ類などのカメムシ目害虫、アザミウマ目害虫に加えて、ハモグリバエ、ハモグリガ、ホソガ、シンクイムシ、カミキリムシなどハエ目、チョウ目、コウチュウ目害虫に対して経口または経皮的に作用し、高い防除効果を示します。
○浸透移行性 茎葉部から作物体内に吸収され、作物全体へ浸透移行していきます。また、トランスラミナー作用により、葉の表から裏への移行性も示しますので、アブラムシなど葉裏に生息している害虫にも優れた防除効果を発揮します。
○幅広い作物に使える 稲、野菜、落葉果樹、かんきつ、茶、花きと幅広い作物に使用できます。
○顆粒タイプの水溶剤 顆粒タイプの水溶剤ですので、薬液調製時の粉立ちが少なく、また作物が汚れる心配が少ない薬剤です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 イネドロオイムシ イネアザミウマ	4000倍	60～ 150ℓ／10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (直播での種時又は 移植時までの処理は 1回以内、 本田での散布、 空中散布、無人航空機 散布は合計3回以内)
	ウンカ類 カメムシ類 イネドロオイムシ	1000倍	25ℓ／10a				
稲(箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ フタオビコヤガ	200倍	育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5ℓ) 1箱当り 500mℓ	移植3日前～ 移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する。	4回以内 (直播での種時又は 移植時までの処理は 1回以内、本田での 散布、空中散布、無人 航空機散布は合計 3回以内)
		高密度には種する場合は 50g／10a(育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り2.5～5g (希釈倍数100～ 200倍))					
	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	200～400倍					
		高密度には種する場合は 50g／10a(育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り1.25～5g (希釈倍数100～ 400倍))					
りんご	カメムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 コナカイガラムシ類 リンゴワタムシ ケムシ類 コガネムシ類成虫	2000～ 4000倍	200～ 700ℓ／10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
なし	シンクイムシ類 アブラムシ類 コナカイガラムシ類 カメムシ類 ケムシ類 チュウゴクナシキジラミ	2000～ 4000倍	200～ 700ℓ／10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	2000～ 4000倍	200～ 700ℓ／10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
	コガネムシ類 クビアカツヤカミキリ	2000倍					
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	2000～ 4000倍	200～ 700ℓ／10a	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内
	コガネムシ類	2000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数			
おうとう	オウトウショウジョウバエ カメムシ類	2 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内			
うめ	ケシキスイ類 クビアカツヤカミキリ	2 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内			
	アブラムシ類 ケムシ類 カメムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍								
すもも	クビアカツヤカミキリ	2 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内			
	カメムシ類 アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍								
あんず	アブラムシ類	4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内			
ぶどう	コナカイガラムシ類 チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ ブドウトラカミキリ カメムシ類 コガネムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内			
かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモグリガ アザミウマ類 ケシキスイ類 コアオハナムグリ ツノロウムシ コナカイガラムシ類 ゴマダラカミキリ カメムシ類 アゲハ類 アカマルカイガラムシ ナシマルカイガラムシ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	6 回以内 (樹幹散布は 3 回以内、 散布及び無人航空機 散布は合計 3 回以内)			
		2 4 倍	4 ～ 8 ℓ / 1 0 a			無人航空機 による散布				
						4 8 倍		4 ～ 1 6 ℓ / 1 0 a	散布	
	カネタタキ	2 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a			無人航空機 による散布				
		2 4 倍	4 ～ 8 ℓ / 1 0 a							
		4 8 倍	8 ～ 1 6 ℓ / 1 0 a							
	ミカンハモグリガ ゴマダラカミキリ	2 0 倍	1 0 0 m ℓ / 樹	収穫 1 5 0 日前 まで		樹幹散布				
		ミカンキジラミ	4 0 倍					2 0 0 m ℓ / 樹		
	かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ ゴマダラカミキリ アゲハ類 アブラムシ類	2 0 倍	1 0 ～ 1 0 0 m ℓ / 樹		春芽・夏芽 又は 秋芽の発生前		3 回以内	樹幹散布	3 回以内
	かき	カキノヒメヨコバイ アザミウマ類 コナカイガラムシ類 カキノヘタムシガ カメムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a		収穫 7 日前 まで		3 回以内	散布	3 回以内
いちじく	アザミウマ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内			
	カミキリムシ類	2 0 0 0 倍								
びわ	アブラムシ類 カメムシ類 カイガラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内			
	カミキリムシ類	2 0 0 0 倍								
なつめ	ゴマダラカミキリ	4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内			
さんしょう (果実)	アザミウマ類	4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内			
オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ マエアカスカシノメイガ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内			
	カメムシ類	2 0 0 0 倍								

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
オリーブ (葉)	オリーブアナアキゾウムシ マエアカスカシノメイガ	4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 1 2 0 日 前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
マンゴー	アザミウマ類 コナカイガラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日 前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
パパイヤ	ナガカタカイガラムシ ヒラタカタカイガラムシ	2 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日 前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ブルーベリー	アブラムシ類 ケムシ類 オウトウショウジョウバエ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 4 5 日 前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ カメムシ類 アオバハゴロモ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
パイナップル (苗木)	パイナップルコナカイガラムシ	2 0 0 0 倍	—	植付前	1 回	1 0 秒間苗浸漬	1 回
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類 アカスジカスミカメ ツマジロクサヨトウ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日 前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
きゅうり	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類 コナジラミ類 カメムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗期の株元処理及び 定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び 定植後の株元散布は 合計 3 回以内)
メロン	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ ウリハムシ ハモグリバエ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗期の株元処理及び 定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び 定植後の株元散布は 合計 3 回以内)
すいか	アブラムシ類 ウリハムシ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
	ミナミキイロアザミウマ	2 0 0 0 倍					
にがうり	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
かぼちゃ	アブラムシ類 ウリハムシ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日 前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
	カボチャミバエ	2 0 0 0 倍					
とうがん	ミナミキイロアザミウマ	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日 前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
食用へちま	アブラムシ類	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
なす	ミナミキイロアザミウマ ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類 テントウムシダマシ類 カメムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗期の株元処理及び 定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び 定植後の株元散布は 合計 3 回以内)
トマト	アブラムシ類 コナジラミ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗期の株元処理及び 定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び 定植後の株元散布は 合計 3 回以内)
	ハモグリバエ類	2 0 0 0 倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗期の株元処理及び 定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び 定植後の株元散布は 合計 3 回以内)
	ハモグリバエ類	2 0 0 0倍					4 回以内 (育苗期の株元処理及び 定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び 定植後の株元散布は 合計 3 回以内)
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類 カメムシ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、散布及び 定植後の株元散布は 合計 2 回以内)
	ミナミキイロアザミウマ	2 0 0 0倍					
とうがらし類	アブラムシ類 コナジラミ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ミナミキイロアザミウマ	2 0 0 0倍					
キャベツ	アブラムシ類 アザミウマ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫 3 日前 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の 散布は 2 回以内)
	アオムシ コナガ	2 0 0 0倍					
はくさい	アブラムシ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	5 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 2 回以内、定植後の 株元散布は 2 回以内)
	アオムシ コナガ	2 0 0 0倍					
ブロッコリー	アブラムシ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の 散布は 3 回以内)
	アオムシ コナガ	2 0 0 0倍		収穫 3 日前 まで			
はなっこりー	アブラムシ類	2 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫前日 まで	2回以内	散布	3 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 2 回以内)
だいこん	アブラムシ類 ダイコンハムシ	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫 7 日前まで	2回以内	散布	3 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、 は種後は 2 回以内)
かぶ こまつな	アブラムシ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
非結球あぶらな科葉 菜類(こまつな、チン ゲンサイ、なばな 類、みずなを除く)	アブラムシ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
チンゲンサイ	アブラムシ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時及び定植時の 土壌混和は合計 1 回以内、 散布は 3 回以内)
	ハモグリバエ類	2 0 0 0倍					
みずな	アブラムシ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
しゅんぎく	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
レタス	アブラムシ類	2 0 0 0～ 4 0 0 0倍	1 0 0～ 3 0 0 ℓ／1 0 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	5 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 2 回以内、定植後の 株元散布は 2 回以内)
	アザミウマ類 ナモグリバエ	2 0 0 0倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	5 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 2 回以内、定植後の 株元散布は 2 回以内)
	ナモグリバエ	2 0 0 0 倍					
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内)
わけぎ あさつき	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内
にら	アブラムシ類 ネギアザミウマ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ネギネクロバネキノコバエ	2 0 0 0 倍					
にら(花茎)	アブラムシ類 ネギアザミウマ	4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	1 0 0 0 倍	2 5 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (植付時の土壌混和は 1 回以内、植付後は 3 回以内)
	アブラムシ類 テントウムシダマシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a				
かんしょ	アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (植付前の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)
やまのいも	アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (植付時までの処理は 1 回以内、植付後は 3 回以内)
てんさい	テンサイトビハムシ カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ アブラムシ類	1 0 0 ～ 2 0 0 倍	1 ℓ / ペーパー ポット 1 冊 (3 ℓ / m ²)	定植前	1 回	灌注	4 回以内 (定植前の灌注は 1 回以内、散布は 3 回以内)
	カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 1 4 日前 まで	3 回以内	散布	
豆類 (種実、ただし、だい ず、あずき、いん げんまめ、らっかせ いを除く)	アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
あずき	アブラムシ類 マメホソクチゾウムシ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の処理は 1 回以内、は種後は 3 回以内)
いんげんまめ	アブラムシ類 カメムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	インゲンマメゾウムシ	2 0 0 0 倍					
だいず	マメシンクイガ	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、散布は 3 回以内)
	アブラムシ類 カメムシ類 フタスジヒメハムシ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍					
豆類 (未成熟、ただし、 えだまめを除く)	アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
えだまめ	アブラムシ類 カメムシ類 フタスジヒメハムシ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の処理は 1 回以内、は種後は 3 回以内)
	マメシンクイガ	2 0 0 0 倍					
オクラ	アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ほうれんそう	アブラムシ類	4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、散布は 3 回以内)
みつば	アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
パセリ	アブラムシ類	4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 1 4 日前 まで	1 回	散布	1 回

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
せり	アブラムシ類	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	親株養成期 但し 収穫 4 5 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
セルリー	アブラムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、散布は 3 回以内)
	ハモグリバエ類	2 0 0 0 倍					
アスパラガス	アブラムシ類 ネギアザミウマ ジュウシホシクビナガハムシ カメムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
みょうが(花穂)	ナスコナカイガラムシ	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	3 回以内
みょうが(莖葉)	ナスコナカイガラムシ	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	みょうが(花穂)の 収穫前日まで 但し、 花穂を収穫しない場合 にあっては開花期終了まで	3 回以内	散布	3 回以内
れんこん	クワイクビレアブラムシ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (植付時までの 処理は 1 回以内、 植付後は 3 回以内)
くわい	アブラムシ類	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
茶	チャトゲコナジラミ	2 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 4 0 0 ℓ / 1 0 a	摘採 7 日前 まで	1 回	散布	1 回
	マダラカサハラハムシ チャノキロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ ツマグロアオカスミカメ コミカンアブラムシ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍					
きく	ナモグリバエ アブラムシ類 アザミウマ類	4 0 0 0 倍	1 ℓ / m ²	発生初期	4 回以内	生育期株元灌注	4 回以内
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 カメムシ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a			散布	
ばら	アザミウマ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	発生初期	4 回以内	散布	4 回以内
	コガネムシ類	2 0 0 0 倍	1 ℓ / m ²			生育期株元灌注	
花き類・観葉植物	アブラムシ類 アザミウマ類	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	発生初期	4 回以内	散布	4 回以内
デイゴ	デイゴヒメコバチ	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	発生初期	5 回以内	散布	5 回以内
げっきつ	ミカンキジラミ	4 0 倍	2 0 0 mℓ / 樹	生育期	6 回以内	樹幹散布	6 回以内
さくら	クビアカツヤカミキリ	2 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ / 1 0 a	成虫発生初期	5 回以内	散布	6 回以内
つつじ類	ツツジゲンバイ	2 0 0 0 ～ 4 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	発生初期	6 回以内	散布	6 回以内
たであい	アブラムシ類	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	発生初期	4 回以内	散布	4 回以内
わた	アブラムシ類	2 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ / 1 0 a	発生初期	2 回以内	散布	2 回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
- 稲（箱育苗）に使用する場合は、育苗箱の上から所定量の希釈薬液を均一に散布してください。また軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 稲及びばれいしょに対して希釈倍数 1 0 0 0 倍で使用する場合は、所定量を均一に散布できる兼用型の手動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- ぶどうに使用する場合、袋かけ前までの幼果期に散布すると品種によっては果粉が溶脱するおそれがあるので注意してください。
- かんきつに樹幹散布で使用する場合は、樹幹部から地際部に十分量を散布または塗布してください。
- かんきつに樹幹散布で使用する場合は、散布液が葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、葉にかからないように十分注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
- 本剤を無人航空機散布による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行ってください。
 - 散布薬液の飛散によって自動車やカートの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
 - 作業終了後は次の項目を守ってください。
 - ・ 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄してください。
 - ・ 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤は、眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。